

達成度：R2.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

経済環境課の目標（令和元年度）自己評価書

経済環境課長 芝野 芳弘

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 生活環境の向上（環境対策室）</p> <p>① 不法投棄やポイ捨ての監視強化に努めるとともに、監視員パトロール等による不法投棄回収物の減量化を図ります。</p> <p>② 残土等の埋立て事業の指導を強化し、違法操業が無いように期限や構造を守った適正な形で事業を終了させることを徹底します。</p> <p>③ ごみの減量化と資源の有効活用を啓発し、処分ごみが減量してリサイクル資源が増えるよう図ります。</p> <p>④ 空き地の周辺住民の良好な生活環境を保持するため、空き地に繁茂する雑草の管理の指導を強化し、苦情件数の減少を図ります。</p>	<p>3</p> <p>3</p> <p>3</p> <p>4</p>	<p>一般の通報や土地所有者等からの相談に追われ、パトロールの実施が不十分でした。</p> <p>許可や届出の内容と相違した施工を行う事業者があることから、現場の確認と指導を厳しく行っています。</p> <p>ごみの減量化については、災害ごみを除いては年々減少傾向であるが、リサイクルの観点では啓発が不足でした。</p> <p>相続不明な土地や遠隔地居住者で連絡先不明な土地などを除けば概ね一旦は解消できたが、付近住民からは雑草の繁茂期に複数回の手入れを要望する相談が増加しました。</p>

<p>2 農業の振興と連携の強化（農政振興班）</p> <p>① 農村（集落）環境の整備と農地保全 国営印旛沼二期土地改良事業の推進と農村環境の向上対策である多面的機能支払制度の推進に努めます。</p> <p>② 農業担い手の確保、育成 農業従事者の高齢化に伴い次代を担う農業者を確保するため、酒々井町人・農地プランの見直しを進めるとともに、引き続き経営改善・規模拡大のための機械・施設などの導入の支援（町担い手育成支援事業）を行い農業の担い手の確保、育成に努めます。</p> <p>3 商工業・観光の振興（商工観光班）</p> <p>① 企業誘致 企業立地優遇制度を掲載した「酒々井町企業立地のご案内」等を活用し、企業誘致活動を行い、優良企業の立地を促進するとともに、生産性向上特別措置法に係る設備投資支援策をはじめとした既存企業に対する再投資支援策を進めていきます。</p> <p>② 観光 観光情報の発信充実を図るため、町の特産品を JR 酒々井駅のケースディスプレイに展示するほか、まち歩きアプリケーション「酒々井ぶらりマップ」の内容を充実し、町の情報を積極的に発信します。 また、酒々井プレミアム・アウトレット内の「酒々井コミュニケーションセンター」における町の PR に努めます。</p> <p>③ 仮称「まるごとすい」運営事業 施設の設備や条件等の整備を行い、早期に開館し事業を実施します。</p>	<p>3</p> <p>4</p> <p>3</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>国営印旛沼二期土地改良事業について、国、県、印旛沼土地改良区及び関係市町と協議を行いました。 多面的機能支払制度については、根古谷地区で引き続き推進に努めました。</p> <p>農業担い手の確保、育成のため、町担い手育成支援事業を継続し、3名に842千円の支援を行いました。また、新たに1名が認定農業者となりました。</p> <p>墨工業団地については、土地所有企業の意向等がまとまらず、依然2区画が未利用地となっております。 生産性向上特別措置法に係る先端設備等導入計画については、2件の申請があり認定しました。</p> <p>JR 酒々井駅のケースディスプレイ展示及び酒々井コミュニケーションセンターの運営を町商工会に委託し、事業を実施しました。また、まち歩きアプリケーションに VR コンテンツを追加し、房総の牧に関連の深い酒々井宿の再現イラストマップを制作し、GPS 対応 AR コンテンツとしてアプリに掲載しました。</p> <p>「まるごとすい」は、10月9日にオープンし、試食会等のイベントを実施、令和元年度は3,786人が来館されました。</p>
--	--	--

<p>チャレンジ目標</p> <p>①コミュニティプラザ・ハーブガーデン（コミュニティプラザ・商工観光班） 利便性の向上と維持管理費の削減を図るため、施設改修を平成32年度までに実施します。</p> <p>②ちびっこ天国（ちびっこ天国・商工観光班） 本年度も引き続き休園することとなりましたが、今後の利用方法についての町としての方向性を検討していきます。</p>	<p>3</p> <p>2</p>	<p>施設改修に向けて、清掃組合、佐倉市と改修費用の負担について協議をしてきましたが整わず、両市町の副市長、副町長を含めた検討会を立ち上げ、協議を進めています。</p> <p>ちびっこ天国については、平成29年度から休園とし、ちびっこ天国の再開、公の施設としての活用、施設の多目的利用などを含め、検討しているところですが、町の方向性を決定するには至らず、引き続き様々な可能性を検討していきます。</p>
---	-------------------	---